

# 茶摘みの 移り変わり



令和6年

6.15(土)~10.14(月)

関連イベント(詳細は裏面をご覧ください)

- 茶娘衣装を着てみよう!(9月14日)
- 研究員によるギャラリートーク(7月14日、8月18日)

- 開館時間 9:00~17:00(入場は16:30まで)
- 休館日 毎週火曜日(8月13日は開館)
- 観覧料(常設展・企画展共通)  
大人(15歳以上)300円、学生 無料

※学生・70歳以上、障害者手帳をお持ちの方は、身分証明書のご提示で無料になります。

協力:公益社団法人静岡県茶業会議所、一般社団法人島田市観光協会、  
金谷茶まつり保存振興会、静岡県農林技術研究所茶業研究センター、  
落合刃物工業株式会社、カワサキ機工株式会社、静岡鉄道株式会社ほか

写真はイメージです



# 茶摘みの 移り変わり

展示  
内容

- I お茶ができるまで
- II 機械化前の茶摘み
- III 茶摘みの機械化
- IV お茶の魅力を伝える「茶娘」



普段私たちが飲んでいるお茶の生産は、茶園でお茶の新芽を摘み採るところから始まります。

明治時代までは人の手でお茶を摘んでいましたが、大正時代に新芽を摘むための「はさみ」が考案され、昭和30年代頃からは、より効率的に茶摘みを行うための機械が開発されてきました。現在では、人が大型の機械に乗って茶摘みを行っている様子が多く見られます。

本展では、緑茶の生産工程のうち「茶摘み」に注目し、お茶の新芽を手で摘む方法から機械で刈る方法までの移り変わりとそれぞれの特徴を紹介します。また、広告塔としてお茶の魅力を伝える静岡県内の各茶産地の「茶娘」や関連商品を紹介합니다。



1



2



3



4



5

①製茶解説書における茶摘みの挿絵(「製茶図解」、明治4年、彦根藩) ②茶摘みの写真(「A Pictorial Shizuokaken Tea Industry」、昭和9年、静岡県茶業組合聯合会議所)  
③茶摘みばさみ ④可機型摘採機(落合刃物工業株式会社所蔵) ⑤乗用型摘採機(カワサキ機工株式会社所蔵)  
※写真はイメージです。※古書及び絵画資料は、資料の劣化を防ぐため写真パネルでの展示を予定しています。※大型機械は、スペースの関係上、写真での展示を予定しています。  
※実際の展示では、機械の型式が変更になる可能性があります。

## 関連イベント

### I 茶娘衣装を着てみよう!

- 内容** 金谷茶娘衣装の着用、茶摘み体験
- 日時** 令和6年9月14日(土)  
①10:30~12:30 ②13:30~15:30  
※衣装の着脱時間を含む
- 場所** 博物館1階多目的ホールほか
- 持ち物** ・白色の襟付きの肌襦袢  
(襟が広めの半袖の白色Tシャツでも可)  
・白足袋(用意できない方は貸出し可)  
・髪の長い方は髪ゴム2本
- 定員** 各回先着14名(事前予約制、6月17日~受付開始)
- 体験料** 1,000円(衣装代、茶摘み体験料等を含む。別途会期中の観覧券が必要です。)
- 対象者** 身長95~168cm程度の方(衣装の都合による)



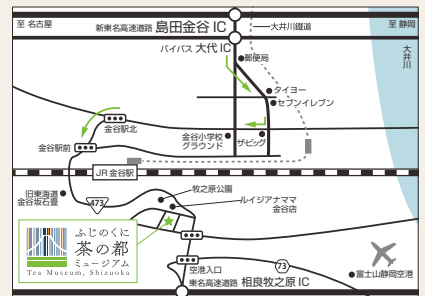
茶娘衣装のイメージ

### II ギャラリートーク 研究員が企画展の見所を解説します。

- 日時** 令和6年7月14日(日)、8月18日(日)  
各日10:30~11:00、13:30~14:00
- 場所** 博物館2階企画展示室
- 定員** 10名程度(当日先着順)  
※総合案内で整理券を配布します。
- 参加料** 無料(当日の観覧券が必要です)  
※当日、総合案内にて整理券をお受け取りの上、企画展示室前へお集まりください。

## ふじのくに茶の都ミュージアム

〒428-0034 静岡県島田市金谷富士見町3053番地の2  
TEL 0547-46-5588 FAX 0547-46-5007  
HP <https://tea-museum.jp>



- ・JR金谷駅より、バス・タクシーで約5分、徒歩約25分
- ・新東名高速道路:島田金谷ICより約13分
- ・東名高速道路:相良牧之原ICより約10分
- ・国道1号:大代ICより 約10分

### 予約方法 ふじのくに電子申請サービスにてお申し込みください。

ふじのくに電子申請サービス 右側の二次元コードからアクセスし、必要事項を入力してください。



※お預かりした個人情報はこのイベント以外に使用しません。  
※1週間経っても申込受付の返信がない場合は、お手数ですがお電話でご連絡ください。

※内容は変更になることがあります。詳細はホームページでご確認ください。